



## 年頭のあいさつ

茨城県知事 岩上二郎  
茨城県統計協会総裁

明けましておめでとうございます。

みなさん、お家族とごいっしょに、よいお正月をお迎えになられたことと存じ、心からお祝い申し上げます。

新しい年、昭和45年は、まさに輝かしい県勢躍進の年となるはずでございます。

昨年、初の外航船出航によつてその扉を世界にひらいた鹿島は、今年新しく操業を開始する10余社を加えて、その面目を一新するでしょうし、昨年合同起工式を挙げた筑波の研究学園都市開発事業も、いよいよその建設が軌道につていくはずでございます。

そして、この二つの開発によつて象徴される新しい茨城は、日本の中枢、首都圏にあつて、もつとも斬新な存在として注目を集め、躍進していくことと存じます。しかし、この飛躍を前にして忘れてならないことは、この経済的繁栄が、県民の経済力を高めるための繁栄、県民の精神的、文化的な向上、薫り高い生活環境形成につながるものでなければならぬということでございます。

さらに、誕生するこの新しい茨城を動かしていく力は、県民の主体的参加の中で総合され、構成されて、県民のものとして動いていかなければなりません。県民疎外のない、県民の参加による県民のための開発の完成をめざしているものであることを、あらためて確認したいと思います。

年頭にあたり、私は、この考えに徹した、県民とともにある県政の推進に、情熱をかたむけるべき決意を新たにしつつ、ここに、県民の方々のご多幸とご活躍を心からお祈り申し上げるものでございます。

昭和45年新春